

令和5年 4月14日（金）

あさひの日だまり

NO.2

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～急募～

「オセロ・ドッジボール・料理」の講師の方

本校では、隔週のクラブ活動を、地域のボランティアの方を指導者としてお迎えし行っていました。しかし、ここ数年は、感染防止の意味から、規模を縮小し、職員が指導できる範囲でクラブ活動を行ってきました。回数も以前に比べると少し少なくしているようです。今年はどうしたものかと悩みましたが、以前同様に戻そうと考えました。職員が指導できる講座は限られますし、指導の幅も深さも地域の専門の方には到底かないません。それはそのまま子どもたちが受けることのできる指導内容の幅と深さになります。地域の専門家の方との触れ合いは子どもたちにとっては本当に貴重な経験ができる機会です。その機会を失することはなんとも惜しいことだと考えました。

6年生の皆さんが開設したいクラブをいくつか考えてくれました。現在、講師の先生を探しているところです。以前お願いしていた方に連絡をとったり、新たに講師の先生を依頼したりしています。そこで、各ご家庭と地域の皆様にお願いがございします。現在、**オセロ・ドッジボール・料理の講師の先生を探しております**。時間は、木曜日の3時から1時間ほどが基本です。（2時ころから2時間という場合がたまにあります）どなたかお願いできませんでしょうか。紹介していただくことでも嬉しいです。**窓口は辰野東小学校（片桐）0266-41-0066**ですので、どうぞお力をお貸しください。よろしくお願いします。

～年度当初のご挨拶～

子どもたちのために精一杯尽くしたいと思います

ホームページに掲載していただけるということで、年度当初の挨拶を書かせていただきました。重ねての掲載になり恐縮ですが、下記のような心持で、職員一同子どもたちとともに学校生活を送っていきたいと思います。ご一読いただけたら幸いです。



さくらの下を登校する子どもたち

通勤途中に天龍の東側の山並みが目に入ります。冬から春にかけての山々の装いの変化は、日に日という言葉がまさにそのまま当てはまるように思われます。特に、春の山桜は目を引きます。1年の中でこの時ばかり、「私はここにいる」と声をあげて呼びかけているかのようにさえ感じられます。

やがて4月も日が立つと、あんなに咲き誇っていた山桜も、「いったいどのあたりで咲いていたのだろう」という具合に、あたりの木々と同化し、その姿を隠してしまいます。

ふと、あの山桜と子どもたちのことが重なって思われました。新入学や進級の時期に重なるので、なおさらそう思えたのかかもしれません。

子どもは、時として光り輝き、キラキラして、私たちはその存在に思わず目を奪われることがあります。そんなときは、思わず「素敵だね」とか「すごいね」と声をかけたくくなります。

しかしながら、そんな瞬間はやがて過ぎ去り、その子も他の多くの子どもの中に取り込まれ、私たちの目を引くことも少なくなっていくかもしれません。そして、「素敵だね」と声をかけられることも少なくなっていくかもしれません。

しかし、私たちが時に山に分け入って、花を散らした山桜の木に出会った時、緑の葉をいっぱいに広げ、斜面にしっかりと根を張り、堂々を人知れず毎日を生きているその姿に、私たちは思わず幹に手を当てて、ともに生の喜びを共有したい思いに駆られます。

どの子も、決して、その他多くの子どもの中に埋没することはありません。その子なりに、毎日を一生懸命に生きています。そして、どの子もよりよく生きたいと願って日々を生きています。時として、キラキラと輝く日もあります。ときとして、目立ちはせずとも着実に日常を歩む日もあります。どの日常も、その子にとっては貴重な1日です。私たち辰野東小学校の職員は、目の前にいる一人ひとりの子どもたちの思いに、心を寄せ、子どもとともに、「今日も1日楽しい学校だったね」「君は今日もよく頑張ったよ」と喜びを共有することができるよう努めてまいります。ご家庭の、そして地域にお皆様の、ご理解とご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

～初めての給食～

満面の笑みで、「おいしいです」



11日(火)は1年生が小学校で初めての給食を食べました。他の学年より早めに準備をし、できるだけゆっくりと食事を楽しめるように担任の先生が進めてくれました。子どもたちが食べ始めたころに教室を訪ねました。「おいしいですか?」と尋ねると、満面の笑みで「はい、おいしいです」と答えてくれました。「もうここにあったおかず食べちゃったんだよ!」と嬉しそうに話しかけてくれた児童もいました。思わず「すごいねー」と返しました。

きっと中には給食が苦手なお子さんもいることと思います。嫌いな食材が出て、箸が進まないこともあろうかと思えます。苦手だった食材のおいしさに気が付くことは貴重な経験ですが、無理をしすぎて、食に対する楽しみが失われてしまうことは残念なことです。心配なことがありましたら、どうぞ担任の先生までご連絡ください。



～あさひ美術館へ団体の来館者がありました～

お子様のご家族の皆様でも鑑賞いただけます



岡谷市から、20名を超える団体の皆様が、本校に併設されている「あさひ美術館」を訪問されました。

当日は、館長様の都合がつかず、本校の伊藤教頭先生が案内及び説明をしてくださいました。教頭先生は今までに何度も来館者を案内しているので、説明もわかりやすく、団体の方も、お帰りになる際には「本当にありがとうございました」と深々とお礼を述べられ、大変満足していただけたようでした。

所蔵されている作品は、地元の作家の作品で、中には大変貴重なものも含まれております。ご家族の皆様、地域の皆様、もしよろしければ、来館いただき鑑賞してみ

てはいかがでしょうか。教頭先生も忙しいので、場合によっては、資料のみを見ていただきながらの鑑賞となりますが、そこはご容赦いただきたいと思います。